学生が創る子どもの居場所～子ども支援活動～

団体名●食☆活（子ども支援活動）／代表者名●野村香奈（経済学部経済学科３年）

はじめに

『食☆活』は、学生主体で運営するボランティア団体として発足し「子ども食堂の実施」「定期的な外部ボランティアへの参加」という目標を実現するため、ボランティア先の確保や目標達成に向けた仕組みづくりに取り組んでいる。

活動内容

1. キッチンこさか

小坂社会福祉協議会の方々と共に、子ども達と毎回異なる工作をし、最後に全員でコミュニケーションを取りながら昼食をとった。

日付	参加人数
5月18日（土）	3人
6月22日（土）	1人
7月27日（土）	2人
9月14日（土）	3人
10月5日（土）	3人
11月30日（土）	4人
12月14日（土）	3人
1月18日（土）	3人

2. 小坂公民館での学習支援

小坂社会福祉協議会の方々と共に、子ども達とレクリエーションで交流をした後、勉強を教える等の学習支援を行なった。

日付	参加人数
8月26日（月）	3人

3. スマイリーキッチン

毎月2～3名がお弁当詰め・配分を行ったり、夕食会では夕食の準備を行ったりし、子供達と会話を楽しんだ。

日付	参加人数
7月12日（金）	4人
7月21日（日）	5人
10月20日（日）	2人
12月20日（金）	2人

4. 少年サポートセンターでの非行少年立ち直り支援

子どもと一緒にじゃがいもやさつまいもの収穫などの農作業体験と収穫した野菜で料理を行った。

日付	参加人数
4月2日（火）	1人
5月25日（土）	2人
6月29日（土）	5人
7月20日（土）	6人
10月28日（月）	2人

5. 子ども宅食イベント

金沢市社会福祉協議会主催で、ひとり親家庭など支援が必要な家庭を対象に食材を無料で配布し、子ども達が楽しめるようにワークショップも行った。

日付	参加人数
8月17日（土）	6人

6.『食☆活』主催のイベント

・子ども七夕祭り

2024年7月6日（土）に金沢星稜大学内で「子ども七夕祭り」を開催した。かき氷、フランクフルト、ポップコーンなどを配布した。子どもたちは、短冊に願い事を書いたり、プラ板作りを行ったりして楽しんでいた。

ワークショップの様子

・クリスマスフェスティバル

2024年12月22日（日）に金沢星稜大学内で「クリスマスフェスティバル」を開催した。カレーライスを提供し、子どもたちは射的や迷路、ストラックアウトなどのゲームを楽しんでいた。

・新年スポーツ大会

2025年1月12日（日）に金沢星稜大学体育館内にて、「新年スポーツ大会」を開催した。鬼ごっこ、ドッジボール、玉入れ、障害物競争などの競技を、学生も一体となって楽しんだ。

日付	参加人数
7月6日（土）	26人
12月22日（日）	28人
1月12日（日）	13人

クリスマスフェスティバルの様子

7. その他外部イベントへの参加

・かなざわフェアトレードフェスタ2024
～能登半島地震被災地支援～

2024年5月11日（土）に金沢市役所庁舎前広場で「かなざわフェアトレードフェスタ2024 ～能登半島地震被災地支援～」が開催された。当団体からは、てるてる坊主とミサンガストラップ作りのブースを出店し、子ども達は、フェアトレードに関わる素材を使った作品作りを楽しんだ。

・能登応援祭

2024年6月8.9日に本学で「能登応援祭」が開催された。当団体は、能登町の「自立支援センターみずほ」の無添加パンや、七尾市の「社会福祉法人みのり園」のポン菓子、そして手作りブローチ、能登ひばブローチ、いも菓子の販売等の出店した団体の協力を行った。

・まちづくり HUB project in 金沢

2024年10月18日（金）に行われた、協働をすすめる市民会議が行う事業の一つである「まちづくりHUB project in 金沢」に、当団体から2名が参加した。地域と学生の連携の重要性や、双方のメリットを話し合った。

・サステナブルグルメフェス

2024年11月23日（日）に野々市市のあらみや公園にて、特定非営利法人いしかわ食わかち ai 主催の「サステナブルグルメフェス」が開催された。当団体からは4名が参加し、フードドライブの受付やガラガラ抽選での景品受け渡しを行った。

日付	参加人数
5月11日（土）	8人
6月8日（土）	5人
6月9日（日）	4人
10月18日（金）	2人
11月23日（土）	4人

成果、結果の考察

独自イベントの開催や外部ボランティアへの参加を通じ、地域の子ども達と交流できた。また、子どもたちを見守るコミュニティが多くあることを実感できた。独自イベントへの申込者が増え、リピートして来てくれた方も多くいた。

今後の課題、展望

『食☆活』としての活動が今年度で終了するため、別団体に活動の引き継ぎを行っていく。活動によってはまだ引き継ぎ先が見つからないものもあるため、引き続き模索していく。